

兵庫ひきこもり支援団体等ネットワーク

# 居場所としての農園

ひきこもり×農園

定員  
70名



ひきこもり状態にある方への支援において、地域における人と人との交流を目的とした多様な「つながり」の場となる居場所の確保が重要ですが、高知県や神戸市での取組をもとに、農園を居場所として活用するヒントを探ります。

## 日程

2026  
**3/13**

13:30~16:00 (開場: 13:00)

## 会場

神戸市立総合福祉センター  
第5会議室  
(神戸市中央区橘通3-4-1)

## 参加費用

無料

## 対象

- ひきこもり支援者、支援団体、
  - 市町ひきこもり担当者
  - 市町農福連携担当者
- 等

## 申込方法

令和8年3月6日(金)  
までに右記QRコード  
からお申込み下さい



## お問い合わせ

- 兵庫県福祉部障害福祉課 担当: 野口 TEL: 078-362-9497
  - 認定NPO法人コムサロン21 担当: 田尻 TEL: 079-240-6299
- 主催: 兵庫県福祉部障害福祉課・神戸市福祉局相談支援課ひきこもり支援担当

当事業は、認定NPO法人コムサロン21が兵庫県(障害福祉課)の委託を受け実施しています。

# ひきこもり×農園

## プログラム

第1部 居場所としての農園 ～ 農作業体験型居場所 ～  
発表：神戸ひきこもり支援室

第2部 兵庫県の農福連携の取組  
発表：兵庫県福祉部ユニバーサル推進課

令和6年度に「農福連携等推進ビジョン(2024改訂版)」が策定され、「地域で暮らす一人一人の社会参画を図る観点から、農福連携をユニバーサルな取組として、障害者のみならず、ひきこもりの状態にある方等の就労・社会参画支援等にも対象を広げる」とされています。

第3部 多機関連携で生きづらさを支援する

～農福連携は地域づくりのひとつの手段～

公文 一也 (くもん かずや) 氏

医療法人おくら会 芸西病院  
地域生活支援室長・リハビリテーション部副部長/元高知県職員

高知県は自殺が多い県であり、その中でも安芸地域が一番多い地域でした。そこで、自殺を減らすためのネットワーク会議を立ち上げて、あらゆる生きづらさを抱えた方達を多職種、多機関で支援していました。その時に一人のひきこもりで生活困窮でコミュニケーションが取れない方をナス農家に就労支援をしたことで農福連携が始まりました。今では、林福、水福、商福、法福、仏福へと連携が拡大し、就労者は100人を超えています。

小松 翔士 (こまつ しょうじ) 氏

ナス農家

新規就農者として18年が経ちました。今から約10年前にひきこもりの方を紹介され雇用しました。最初は、居場所にでもなればいかなと軽い気持ちで雇用しました。しかし、その方はコミュニケーションは取れませんが、一生懸命働いてくれるのでハウスの規模を拡大しました。今まで3人を雇用しましたが、農業は仕事を覚えればコミュニケーションが取れなくても大丈夫です。みんな毎日出勤して生き生き仕事をしています。

## お申込み

令和8年3月6日(金)までに  
右記QRコード又は下記URLからお申込み下さい。  
URL: [forms.gle/tuDGF6G6RCkCGNwb6](https://forms.gle/tuDGF6G6RCkCGNwb6)

